



全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

令和3年7月13日発行

第5号

長野県中信教育事務所

共に歩まん

学び続ける教師・学校「授業力アップ講座」

本年度最初の【授業力アップ講座(オンライン：5月21日)】に、多くの先生方にご参加をいただきました。授業の基本の一つである「板書」を中心に、板書の際の要点や日頃の自身の取り組みを振り返る時間となりました。

「板書時に、大切に考えていることは何ですか？」

普段当たり前のように行っている板書。上の質問を元に、普段の授業で板書時に何を意識しているかを考えることから講座がスタートしました。

第2章 板書編

1 板書計画を立てよう。

まずは、一時間の授業の流れを思い浮かべながら、最終のどの位置に何を置くかを考えてみましょう。

【導入】 板書の見出しをもとに
【展開】 子どもの考えや疑問を生かす
【結末】 子どもの設定で終わらせる

学習目標
学習内容
学習活動
振り返り
評価

「1枚の板書におさめる」

第2章 板書編

3 見やすく、分かりやすい板書を心がけよう。

左側の作品と右側の作品を比べてみよう。

ここは、こんな感じにしたらどうかな…

子どもたちが思考する場として活用しています。

小3：音楽「音楽づくり」 小4：音楽「歌唱表現の工夫」

「考えを書き込める」

「参加の先生方の声」より

子どもたちの考えを共有できる板書の工夫をしていきたいです。

思考の流れが分かるような板書を心がけていきたいです。

講座の中では【信州Basic】を活用し、板書が児童生徒の学びにどう関わるのか、どのような効果が期待できるのか等について、具体例の写真と共に確認していきました。参加された先生方からは『ちょっとした工夫をすることや子どもの目線で板書内容を見返すことで、自分の日頃の実践を変えていきたいところに気が付くことができた』という言葉が聞かれました。

また講座後半では、小グループで日頃の悩みや考えを互いに出し合いました。

「参加の先生方の声」

自分自身の授業に関する悩みを共有することができたと同時に、早速実践へとつながるヒントとなりそうな助言を多くの先生方からいただくことができました。私も来週から早速取り組んでみたいです。

他教科の先生方などの実践例を教えていただき、自分の日々の授業でたくさん取り入れていきたいと思いました。日々、自分の授業を見つめ直し、改善したい点や手応えを感じた実践を蓄積し、常に自己更新を続けられる先生でありたい。

板書を切り口に、自分の授業を考え直したり、こんな取り組みをしたいと思いを新たにしたりする先生方の姿がありました。子どもたちのさらなる成長のために、「学び続ける」ことを常に心に留めておきたいですね。



次回の「授業力アップ講座」は、教科別により深く学び合う内容を予定しています
皆様のご参加をお待ちしております！（7月30日・8月10日）